

第5章 観光文化スポーツ部

[観光文化スポーツ部]

1. 観光振興の推進

- (1) 観光マーケティング推進事業 (予算額 18,787千円)
効果的な観光誘客と認知度向上を図るため、人流・消費の客観的データを調査・分析して観光客の動態やニーズを把握するとともに、SNSを活用した戦略的な情報発信を行う。
- (2) 竿燈まつり振興事業 (予算額 28,218千円)
秋田竿燈まつりの保存と振興により、交流人口の増加と地域の活性化を図るため、秋田竿燈まつりの開催に対して補助する。
- (3) インバウンド誘客促進事業 (予算額 2,374千円)
インバウンド誘客を促進するため、県との連携によるトップセールスを行うほか、台湾台南市との交流を実施する。
- (4) 観光施設整備等経費 (予算額 1,540千円)
雄和地区の観光施設について、利用者に安全・快適な施設環境を提供するため、計画的な修繕を行う。
・雄和観光交流館屋上防水修繕
- (5) 観光プロモーション事業 (予算額 27,608千円)
本市の認知度やイメージの向上を図るため、秋田市文化創造館での竿燈公演をはじめ、竿燈を活用した効果的な観光プロモーションを実施するほか、関係団体と連携した観光誘客活動を展開する。
- (6) 秋田の魅力発信素材充実事業 (予算額 506千円)
観光素材の画像や動画をまとめたWEBサイトの運営を通じて、本市の魅力を拡散し、観光誘致を図る。
- (7) 秋田市観光振興協働交付金 (予算額 103,350千円)
観光振興およびコンベンション振興に関する事業を実施するため、(公財)秋田観光コンベンション協会に対して交付金を交付する。
- (8) 千秋公園魅力アップ推進事業 (予算額 8,436千円)
千秋公園および周辺エリアの回遊性向上と来訪者の増加を図るため、日常的な魅力向上に加え、歴史や文化の地域資源を活かした体験型観光の充実に取り組む。
- (9) 雄和ふるさと温泉大規模改修事業 (予算額 580,620千円)
雄和ふるさと温泉の施設機能向上を図るため、大規模改修工事を実施し、リニューアルオープンに向けた準備を行う。
・継続費 令和7年～8年度 総額1,382,738千円
・事業内容 大規模改修工事、設計・工事監理
- (10) 秋田の伝統芸能・食文化イベント開催経費 (予算額 9,000千円)
県内外からの誘客促進と交流人口の拡大を図るため、秋田の豊かな食や文化、芸能などを集結したイベントを開催する。
- (11) 観光客等受入促進事業 (予算額 2,106千円)
市内観光の利便性向上および受入環境の充実に図るため、秋田市観光myタクシーの利用にかかる費用の一部を補助するほか、観光案内看板の点検および修繕を実施する。
- (12) 秋田市ポータタワー・秋田港振興センター修繕経費 (予算額 99,035千円)
秋田市ポータタワーについて、利用者に安全・快適な施設環境を提供するため、計画的な改修を行う。
・ポータタワー無線機械室空調機更新修繕
・継続費 令和8年～9年度 総額219,588千円
・事業内容 秋田市ポータタワー空調設備および自動制御設備改修工事

2. にぎわいの創出

- (1) 中心市街地にぎわい創出事業 (予算額 8,960千円)

中心市街地への年間を通した交流人口の拡大と回遊性の向上を図るため、にぎわい広場を中心にイベントを開催する実行委員会に負担金を拠出し、にぎわいを創出する。

- (2) 北前船日本遺産推進事業 (予算額 992千円)

北前船寄港地間の交流と地域の活性化、本市の観光振興を図るため、寄港地ゆかりの様々な文化遺産の歴史的魅力を広く発信する。

- (3) にぎわい交流館等修繕経費 (予算額 7,954千円)

秋田市にぎわい交流館および中通一丁目自動車駐車場について、利用者の安全・快適な施設利用のため、計画的な修繕を行う。

- ・にぎわい交流館総合案内エアコン更新修繕
- ・中通一丁目自動車駐車場消火設備修繕

- (4) 秋田港大型クルーズ船誘致等事業 (予算額 49,941千円)

観光振興の推進やにぎわいの創出を図るため、県や関係団体と連携してクルーズ船の誘致セールスや歓迎行事等を行う。

3. 文化振興

- (1) 文化の振興

秋田市文化振興条例（昭和58年3月）の制定とともに、文化振興基金270,000千円を設置（令和7年度末141,092千円）し、芸術、学術等で広く市民文化の振興に貢献した個人、団体の諸活動に対する顕彰等を行っている。

また、市民の自主的な文化活動や中学校、高等学校等の文化部活動、特別支援学校における文化活動を支援するとともに、活動の場、鑑賞の機会等の情報の提供に努める。

- (2) 芸術文化のまちづくり推進事業 (予算額 9,200千円)

市民の芸術文化の発表・鑑賞の機会の拡大および担い手の確保・育成による市民文化の振興、秋田独自の芸術文化事業によるにぎわいの創出を図り、本市文化の継承・創造による芸術文化のまちづくりを推進する。

- (3) 文化財の保護および活用

文化財愛護思想の普及を図るとともに、文化財の指定や保存を推進するなど、文化財の保護および活用に努める。

秋田市内の指定文化財一覧

(令和8年4月1日現在)

種別 指定区分	有 形 文 化 財								無形文化財	民 俗 文 化 財		記 念 物			計
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	古文書	考古資料	歴史資料		有形民俗	無形民俗	史跡	名勝	天然記念物	
国	8	—	1	—	1	—	2	1	—	2	3	3	1	1	23
県	3	12	10	25	13	8	20	11	1	4	2	5	—	1	115
市	8	16	19	23	8	15	13	21	2	7	12	8	2	11	165
計	19	28	30	48	22	23	35	33	3	13	17	16	3	13	303

- (4) 文化財保存事業補助金 (予算額 492千円)

文化財の保護と活用を図るために、重要文化財嵯峨家住宅・天徳寺・三浦家住宅の管理費の一部を補助する。

- (5) カモシカ食害対策事業 (予算額 2,400千円)

特別天然記念物カモシカの保護と農作物への食害を防止するため、農業被害に対して防護網や忌避臭袋を支給する。

- (6) 遺跡事前発掘調査事業 (予算額 3,200千円)

宅地造成などの開発行為から埋蔵文化財を保護するために、発掘調査を行う。

- (7) 地蔵田遺跡公開活用事業 (予算額 1,000千円)
弥生時代前期の集落跡である国指定史跡地蔵田遺跡（平成8年11月6日指定）を、郷土学習の生きた教材として有効活用するとともに、史跡の周知を促進するために情報発信を行う。
- (8) 地蔵田遺跡竪穴住居屋根修繕経費 (予算額 1,096千円)
史跡地蔵田遺跡で復元された竪穴住居の茅葺き屋根のふき替えを行う。
- (9) 重要文化財天徳寺・佐竹家霊屋防災施設整備事業 (予算額 16,768千円)
重要文化財天徳寺および佐竹家霊屋の防災施設整備に係る事業費の一部を補助する。
- (10) 県指定有形文化財日吉八幡神社建造物調査経費 (予算額 5,377千円)
県指定有形文化財日吉八幡神社を将来にわたり保存・継承していくため、建造物詳細調査を実施する。
- (11) 文化振興ビジョン策定経費 (予算額 314千円)
文化振興推進のマスタープランである「第2次秋田市文化振興ビジョン」の計画期間が令和9年3月に終了することから、令和8年度に現計画を改定し、「第3次秋田市文化振興ビジョン」を策定する。
- (12) 文化創造館管理運営経費 (予算額 115,890千円)
秋田市文化創造館を指定管理者制度により管理運営し、施設の貸出および市民協働による文化創造のまちなの実現に資する事業の企画・運営等を行う。
- (13) あきた芸術劇場管理運営費 (予算額 133,827千円)
あきた芸術劇場を指定管理者制度により管理運営し、施設の貸出および文化芸術の振興等に寄与する事業の企画・運営等を行う。
- (14) 旧松倉家住宅管理運営経費 (予算額 25,063千円)
秋田市旧松倉家住宅（県指定有形文化財）を指定管理者制度により管理運営し、文化財の公開、施設の貸出および歴史・文化を生かしたまちづくりを推進する事業の企画・運営を行う。
- (15) 秋田城跡歴史資料館 (予算額 83,360千円)
平成28年4月、国指定史跡秋田城跡（昭和14年9月7日指定）の調査研究成果の公開と活用の総合拠点として開館した。
史跡秋田城跡の発掘調査、環境整備および土地の公有化を長期計画に基づいて継続的に実施するほか、出土遺物の科学保存処理を行う。
- ア 令和7年度入館者数 9,701人
- イ 利用案内
- ・休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
 - ・開館時間 午前9時～午後4時30分
 - ・観覧料 一般（大学生を含む） 310円（240円）
()は団体20人以上の料金
 - 年間観覧券 460円
 - 高校生以下 無料
 - くるりん周遊パス（秋田市立文化施設共通観覧券）1,000円
- (16) 千秋美術館 (予算額 248,652千円)
昭和33年、秋田市美術館として設立。平成元年に市制100周年を記念してアトリオン内に移転、開館した。市の中心部に位置し、市民が気軽に立ち寄り優れた美術品に親しむことができる都市型美術館である。
令和4年6月13日から休館して大規模改修工事を行い、令和6年6月29日にリニューアルオープンした。
秋田蘭画をはじめ、寺崎廣業など郷土ゆかりの作家・作品のほか、洋画家・岡田謙三、写真家・木村伊兵衛などの作品を収蔵する。館蔵品による常設展示、国内外の優れた作品による特別展を開催している。
- ア 令和7年度入館者数 33,392人
- イ 利用案内
- ・休館日 年末年始（12月29日～1月3日）、アトリオン全館点検日（10月・3月）ほか
 - ・開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

・観覧料 常設展 一般 310円(250円)
大学生 210円(160円)

()は団体20人以上および県立美術館との相互割引の料金

高校生以下 無料

特別展は企画ごとに異なるが、常設展も観覧できる。

年間観覧券 一般 3,000円

大学生 1,500円

くるりん周遊パス(秋田市立文化施設共通観覧券) 1,000円(常設展が対象)

(17) 赤れんが郷土館 (予算額 51,280千円)

昭和60年、郷土の歴史のおよび文化的所産の保存と活用を通じ、市民の教育と文化の向上に資するための施設として開館した。建物は明治45年に建築された旧秋田銀行本店本館で、昭和56年に市制施行90周年記念として銀行から市に寄贈されたものであり、平成6年には国の重要文化財(建造物)に指定されている。

郷土の歴史・文化に関わる企画展を開催しているほか、版画家・勝平得之と鍛金家・関谷四郎の作品、本市の伝統工芸品を常設展示している。

また、各種学習講座や文化財を利活用した赤れんが館コンサート等を開催している。

ア 令和7年度入館者数 29,105人

イ 利用案内

・休館日 年末年始(12月29日～1月3日)、展示替期間

・開館時間 午前9時30分～午後4時30分

・観覧料 一般(大学生を含む) 310円(240円)

〃 年間観覧券 770円

〃 民俗芸能伝承館との共通観覧券 370円(290円)

()は団体20人以上の料金

くるりん周遊パス(秋田市立文化施設共通観覧券) 1,000円

(18) 民俗芸能伝承館「愛称：ねぶり流し館」 (予算額 97,076千円)

平成4年、竿燈・土崎神明社祭の曳山行事・梵天など郷土の民俗行事や秋田万歳・黒川番楽・山谷番楽・羽川剣ばやしなどの民俗芸能の展示と伝承のための施設として開館した。

来館者が気軽に竿燈にチャレンジできる施設として活用されているほか、後継者育成のための練習や発表の場として練習室等の貸出しも行っている。

ア 令和7年度観覧者数 65,433人

イ 令和7年度施設使用者数 6,108人

ウ 利用案内 (民俗芸能伝承館・旧金子家住宅)

・休館日 年末年始(12月29日～1月3日)

・開館時間 民俗芸能伝承館 午前9時～午後9時(練習室等を利用した場合)

旧金子家住宅 午前9時～午後4時30分(土蔵等を利用した場合)

・観覧時間 午前9時30分～午後4時30分

・観覧料 一般(大学生を含む) 130円(100円)

〃 赤れんが郷土館との共通観覧券 370円(290円)

()は団体20人以上の料金

高校生以下 無料

くるりん周遊パス(秋田市立文化施設共通観覧券) 1,000円

(19) 旧金子家住宅

江戸時代後期の秋田の町屋の特徴を残した建物として、平成9年に市の有形文化財に指定され、平成16年度までに主屋と土蔵の復元整備を終えた。平成17年度から商家の店先を再現展示するとともに、土蔵と和室を展示会等の多目的利用が可能なスペースとして貸出しを行っている。

ア 令和7年度観覧者数 65,433人

イ 令和7年度施設使用者数 5,480人

(20) 佐竹史料館

(予算額 153,052千円)

平成2年、秋田藩主佐竹氏関連の歴史資料の収集と展示を目的に開館し、令和7年10月25日にリニューアルオープンした。復原した久保田城御隅櫓や、御物頭御番所などの施設と連携して秋田の藩政時代を紹介している。

ア 令和7年度入館者数 7,726人(令和7年10月25日～令和8年3月31日)

イ 利用案内

- ・休館日 年末年始(12月29日～1月3日)、展示替え期間
- ・開館時間 午前9時～午後4時30分
- ・観覧料 常設展 一般 500円(400円)

()は団体20人以上の料金

高校生以下無料

企画展 企画展により異なる

年間観覧券 1,300円 発行日から1年間、佐竹史料館(常設展示室)と久保田城御隅櫓を観覧可能

くるりん周遊パス(秋田市立文化施設共通観覧券) 1,000円(常設展が対象)

(21) 久保田城御隅櫓(くぼたじょうおすみやぐら)

久保田城本丸北西の隅に位置していた櫓を、市制100周年を記念して展望室を加えて復原した。久保田城や佐竹氏の歴史をパネル展示などにより紹介している。

ア 令和7年度入館者数 34,310人

イ 利用案内

- ・休館日 12月1日～3月31日
- ・開館時間 午前9時～午後4時30分(市立小・中学校の夏季休業期間は、午前9時～午後7時)
- ・観覧料 一般 150円(120円)

()は団体20人以上の料金

佐竹史料館の年間観覧券持参者および高校生以下 無料

くるりん周遊パス(秋田市立文化施設共通観覧券) 1,000円

(22) 御物頭御番所(おものがしらごばんしょ)

久保田城内の二ノ門(長坂門)の開閉および管理と城下の警備、火災の消火などを担当していた物頭の詰所であり、城内に唯一残っている藩政時代(18世紀中頃)の建物として、平成2年に市の有形文化財(建造物)に指定されている。

(23) 旧黒澤家住宅

藩政期に建てられた上級武家住宅。主屋をはじめ表門、米蔵、土蔵、木小屋、氏神堂などが当時のまま残っているのは全国でも例がなく、平成元年に国の重要文化財に指定されている。昭和63年に市内中通から一つ森公園内に移築している。

ア 令和7年度入館者数 1,054人

イ 利用案内

- ・休館日 年末年始(12月29日～1月3日)
- ・開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- ・観覧料 一般 150円(120円)

()は団体20人以上の料金

高校生以下 無料

くるりん周遊パス(秋田市立文化施設共通観覧券) 1,000円

(24) 旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園

江戸時代に整備された旧藩主佐竹氏の御休所で、東北地方の大名庭園や庭園文化を知る上で重要である。平成19年に国の名勝に指定された。平成26年から修復整備を行い、平成29年10月から一般公開を行っている。

ア 令和7年度入園者数 3,439人

イ 利用案内

- ・休 園 日 年末年始（12月29日～1月3日）
- ・開園時間 午前9時～午後4時30分（4月～11月）
午前9時30分～午後4時（12月～3月）
- ・入 園 料 一 般 310円（240円）
（ ）は団体20人以上の料金
高校生以下 無料
年間入園券 770円
くるりん周遊パス（秋田市立文化施設共通観覧券）1,000円

◎文化施設

施 設 名	開 設 年 度	構 造	面 積 (㎡)	備 考
秋 田 城 跡 歴 史 資 料 館	平28	鉄筋コンクリート平屋建	951.70	展示施設 324.0㎡ 管理運営施設 627.7㎡
野 外 音 楽 堂	昭46	鉄筋コンクリート	69.00	野外ステージ
千 秋 美 術 館	昭33	鉄骨鉄筋コンクリート	2,933.63	平元.11アトリオン内に移転 令6.6.29リニューアルオープン
赤 れ ん が 郷 土 館	昭60	煉瓦造一部RC3階建	1,899.99	国指定重要文化財（建造物）
民 俗 芸 能 伝 承 館	平4	鉄骨造5階建	1,340.02	展示室、練習室、会議室
旧 金 子 家 住 宅	平17	木造2階建	607.92	市指定有形文化財（建造物）
佐 竹 史 料 館	平2	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建	2,607.94	令7.10.25リニューアルオープン
旧 黒 澤 家 住 宅	平元	木造平屋建	343.39	国指定重要文化財（建造物）
御 物 頭 御 番 所	昭63	木造中2階建	125.70	市指定有形文化財（建造物）
久 保 田 城 御 隅 櫓	平元	鉄筋コンクリート 三層4階建	430.36	
地 蔵 田 遺 跡 出 土 品 展 示 施 設	平25	御所野総合公園管理事務所 内	139.27	
如 斯 亭 庭 園	平29	庭園	4,054.99	国指定名勝
文 化 創 造 館	令2	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階建	1,748.93	
あ き た 芸 術 劇 場	令4	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 6階建	8,580.81	
旧 松 倉 家 住 宅	令4	木造2階建	512.36	県指定有形文化財（建造物）

4. スポーツの振興

- (1) ジュニアアスリート支援事業 (予算額 4,060千円)
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承した持続可能な競技力向上体制の確立を図るため、東北、全国大会に出場する小中学生、国際大会に出場する選手、団体に激励金を支給する。
- (2) 市民スポーツ活動振興事業 (予算額 13,558千円)
全市一斉スポーツレクリエーション大会・ラジオ体操のつどいなどの開催や地区スポーツ大会・教室への助成事業および競技団体やスポーツ少年団の育成事業を（一財）秋田市スポーツ協会に委託する。
- (3) はずむスポーツ都市推進事業 (予算額 4,407千円)

はずむスポーツ都市のPRに努めるとともに、幅広い世代が健康づくりに取り組めるイベントや各種スポーツ教室等を実施する。

ア 健康のつどい

イ はずむ！スポーツ教室

ウ 与次郎駅伝

エ あきたランフェスタ

(4) 生涯スポーツの振興 (予算額 5,871千円)

ア 学校体育施設開放事業

地域の身近なスポーツ施設である学校体育施設を開放し、気軽にスポーツに親しむことができる環境を提供する。

(ア) 指定開放日 4月から11月までの毎週水曜日に、個人および10人未満のグループを対象に、施設を開放。開放時間は、グラウンドが午前6時から午前7時30分、体育館が午後7時から午後9時まで。

(イ) 団体使用 学校区内の住民10人以上で構成された団体は、「学校体育施設使用団体」として各学校単位で登録し、学校教育に支障のない範囲で施設を使用。

イ スポーツ推進委員の育成

ウ 学校開放スポーツ教室の開催

エ ニュースポーツの普及・貸出用具の整備

(5) スポーツホームタウン推進事業 (予算額 28,363千円)

トップスポーツクラブの本市PR活動に対する支援、バナーやのぼり等の掲出によるホームゲームのPRなどを行い、市民が地元クラブを応援する気運を高め、地域に密着したトップレベルのスポーツクラブを核としたまちづくりを推進するほか、県内外からの観客動員による経済効果をもたらすとともに、他県へのアピールによる秋田市のイメージアップを図る。

(6) 体育施設整備補修等経費 (予算額 163,829千円)

・雄和体育館屋根等改修工事

・茨島体育館トイレ改修工事

(7) スポーツ振興マスタープラン策定等経費 (予算額 617千円)

令和7年度に実施した「スポーツ振興に関する市民意識調査」の結果を基に、現状や課題を分析し、令和9年度を初年度とする第5次秋田市スポーツ振興マスタープランを策定する。

◎市体育施設の概要

施 設 名	所 在 地	収容人員 (人)	電 話	規 模 (㎡)	施設の内容
八 橋 運 動 公 園 陸 上 競 技 場 (ソユースタジアム)	八橋運動公園 1-10	19,845	823-1472	29,458	第 2 種公認陸上競技場 1 周400m (8 コース) 全天候型 L E D 投光器 (45 灯× 4 基) 大型映像装置
硬 式 野 球 場 (さきがけ八橋球場)	八橋運動公園 1-7	16,421	867-1000	17,631	両翼100m、中堅122m マットフェンス張 LED付磁気反転表示スコアボード
球 技 場 (秋田スポーツPLUS・ ASPスタジアム)	八橋運動公園 1-1	4,992	883-1870	16,268	メインスタンド 鉄筋コンクリート造 P C 造 一部鉄骨造 3 階建 延床面積 1,493.73㎡ 電光得点盤 夜間照明柱 8 基、 メタルハライド灯 1.0KW 128 個 天然芝 (寒冷型西洋芝)
第 2 球 技 場 (スペースプロジェクト・ ドリームフィールド)	八橋運動公園内	730		10,900	観覧席 倉庫、夜間照明設備 メタルハライド灯 1.5KW 60 個 人工芝
健 康 広 場				11,100	倉庫、夜間照明設備 メタルハライド灯 1.5KW 60 個
相 撲 場		2,000		3,362	改良野芝ひめの 盛土芝張、土俵上屋付 (4 本柱)
テ ニ ス コ ー ト		2,000		7,644	砂入人工芝コート 6 面 本部席、夜間照明柱 6 基 メタルハライド灯 1.0KW 16 個
〃				3,854	グリーンサンドコート 4 面、 用具庫
多目的グラウンド	八橋本町六丁目 12-20			13,250	管理倉庫、ダッグアウト 四阿、夜間照明設備 コンクリート柱 6 基、 メタルハライド灯 1.5KW 90 個
市 立 体 育 館 (CNAアリーナ★あきた)		6,100	866-2600	12,285	鉄筋コンクリート造・鉄骨造 2 階建 競技場面積 メインアリーナ 2,540㎡ サブアリーナ 836㎡ 卓球室 324㎡ ジョギングコース 250m 固定観覧席 メインアリーナ 2,468 人 ロールバックスタンド 900 人 サブアリーナ 300 人 計 3,668 人 更衣室、シャワー室、会議室、 多目的ホール

施 設 名	所 在 地	収容人員 (人)	電 話	規 模 (㎡)	施設の内容
茨 島 体 育 館 (スミケンアリーナ)	茨島一丁目4-71		865-1417	2,323	鉄骨・鉄筋コンクリート造 3階建 体育館 923.40㎡ 武道場 399.33㎡ トレーニング室 145.35㎡ ミーティングルーム、更衣室、 シャワー室
河 辺 体 育 館 (足利工務店河辺アリーナ)	河辺和田字上中野 186	240	882-3654	2,205	鉄骨一部鉄筋コンクリート造 2階建 事務室、ホール、更衣室、器具 室、放送室、電気室
雄 和 体 育 館 (伊藤工業アリーナ)	雄和妙法字上大部 95-1	384	886-2844	2,571	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2階建 事務室、ホール、小ホール 更衣室、ミーティングルーム
雄 和 南 体 育 館 (工藤興業アリーナ)	雄和神ヶ村字陳笠 259		887-2318	1,121	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2階建 事務室、更衣室、 ミーティングルーム
河辺岩見三内野球場	河辺三内字上野 58-2	}	882-3654 (河辺体育館)	26,873	両翼91m、中堅120m、 用具室、器具室、屋外便所
河 辺 和 田 野 球 場	河辺和田字和田224			14,733	両翼91m、中堅120m、 審判控室、用具室、 カウント表示盤
河 辺 戸 島 野 球 場	河辺戸島字上野 50-1			12,000	両翼91m、中堅110m、 審判室、用具室、屋外便所
ス ポ パークかわべ	河辺岩見字萱森 上野17-2			65,171	管理棟 168.37㎡ 木造平屋建 サッカー場 9,750㎡ 多目的広場 11,952㎡ グラウンド・ゴルフ場 19,235㎡
北 野 田 公 園 アリーナ・テニスコ ート	河辺北野田高屋 字小高37-1	400	881-1950	56,000	アリーナ 砂入人工芝 (テニスコート2面分) 事務室、会議室、ロッカー・ シャワー室 テニスコート 砂入人工芝コート(8面) 夜間照明(4灯×8塔)
雄 和 新 波 野 球 場	雄和新波字寺沢 31-1		887-2318 (雄和南 体育館)	11,521	両翼90m、中堅110m、 事務室、更衣室、審判員室、放 送室、便所、バックネット
雄 和 花 の 森 野 球 場 (伊藤工業ボールパーク)	雄和石田字蟹沢39	1,300	886-2844 (雄和体育館)	96,182	メインスタンド 鉄筋コンクリート2階建 348.84㎡ 両翼100m、中堅122m、 事務室、更衣室、審判員室、放 送室、便所、バックネット バックスクリーン、 スコアボード、屋外トイレ
雄 和 花 の 森 テニスコート	雄和石田字蟹沢41		886-2844 (雄和体育館)	1,814	砂入人工芝コート(2面) 夜間照明(4灯×4基)

施 設 名	所 在 地	収容 人員 (人)	連絡先	電 話	規 模 (㎡)	施設の内容
古川町街区公園 土崎市民グラウンド	土崎港西四丁目 3-1		北部市民サービス セ ン タ ー	846-1133	9,400	夜間照明設備 鉄筋コンクリート 高さ20m 6基 メタルハライド灯 1.5KW 60個
勝平市民グラウンド	新屋豊町1-31		勝 平 屋 内 ゲートボール場	866-1055	23,547	野球場1面、多目的広場1面 夜間照明設備 コンクリート柱高さ21m 7基・20m4基 メタルハライド灯 1.0KW 76個
勝 平 屋 内 ゲートボール場	新屋豊町1-31			866-1055	996	ゲートボールコート2面 休憩室
光 沼 近 隣 公 園 テニスコート 屋内多目的運動場 (秋田製錬アリーナ)	土崎港相染町字 沼端77			847-4602	1,490	砂入り人工芝コート2面
一つ森公園弓道場	下北手桜字蛭沢 62-1		一 つ 森 公 園 コミュニティ 体 育 館	831-8300	射場 163 的場 36	6人立ち
茨島地域運動広場	茨島一丁目 12-12		茨島体育館	865-1417	4,045	多目的広場
横森地域運動広場	横森三丁目 3-1				8,342	野球場1面
西部地域運動広場	新屋大川町 20-5		西部市民サービス セ ン タ ー	828-4217	9,148	野球場1面
北部地域運動広場	下新城笠岡字 笠岡47		下新城地区コミュニティ セ ン タ ー	873-2112	8,755	野球場1面
手 形 中 台 地 域 運 動 広 場	手形字中台 59-2				7,102	多目的広場
飯島地域運動広場	飯島字古道92		飯島地区コミュニティ セ ン タ ー	845-1731	12,911	野球場1面
外 旭 川 地 域 運 動 広 場	外旭川八幡田 一丁目18		外旭川地区コミュニティ セ ン タ ー	868-5075	10,170	野球場1面
湯野目地域運動広場	雄和下黒瀬字 湯野目39				1,758	多目的広場
八 田 地 域 運 動 広 場	下浜八田字餅田 42-2				4,097	多目的広場

5. 秋田拠点センターアルヴェ・秋田市民交流プラザ管理室

秋田拠点センターアルヴェは、秋田駅東西の一体的なまちづくりを実現するため、秋田市と民間事業者が連携して、平成16年7月にオープンした官民複合施設である。

(1) 秋田市民交流プラザ管理室

(予算額 328,641千円)

アルヴェ公共棟である秋田市民交流プラザは、市民交流の場の創出、市民生活の向上、地域の活性化などを目的として、駅東サービスセンター、子育て交流室、自然科学学習館、市民交流サロンにおいて各種行政サービスが行われているほか、きらめき広場や多目的ホール、音楽交流室や洋室などの有料貸出施設も有しており、さまざまなイベントや各種会合に利用されている。

また、秋田駅東西連絡自由通路（ぼぼろード）および秋田駅東口駅前広場の維持管理業務を行っている。

有料貸出施設

- ・きらめき広場 (600㎡)・多目的ホール (410㎡)
- ・洋室A (35㎡)、洋室B (55㎡)、洋室C (120㎡)、和室 (44畳)、調理室 (50㎡)
- ・音楽交流室A (35㎡)、音楽交流室B (25㎡)、音楽交流室C (25㎡)、音楽交流室D (105㎡)

- (2) 官民連携秋田駅周辺活性化事業 (予算額 2,399千円)

秋田駅周辺の活性化を図るため、アルヴェ管理組合や民間事業者と連携し、にぎわい創出を目的とした各種集客イベントを開催している。

- (3) 秋田駅東口駅前広場施設改修経費 (シェルター設備修繕) (予算額 8,811千円)

経年劣化した秋田駅東口駅前広場のシェルター設備について、安全性を確保するため、改修を行う。

6. 大森山動物園

昭和48年9月に秋田市中心部の千秋公園内にあった「秋田市児童動物園」を秋田市西部の丘陵地に位置する大森山公園内に移転し、開園した。

各種行事を開催し、にぎわい創出に努めるとともに、ふれあい教室や体験学習などの教育普及活動を実施しているほか、ニホンイヌワシやアムールトラなど希少種の繁殖に取り組んでいる。

〔沿革〕

昭和25年8月1日	千秋公園内に「秋田県児童会館附属動物園」を開設
昭和28年4月1日	秋田市に移管され、「秋田市児童動物園」と改称
昭和48年9月1日	大森山公園内に移転し、「秋田市大森山動物園」と改称
昭和56年4月1日	「サル山」オープン
平成3年4月1日	「大型動物舎」完成 (市制100周年事業)、ゾウ・キリン展示開始
平成9年4月26日	「ふれあいランド」オープン
平成14年3月21日	「チンパンジーの森」オープン
平成15年10月4日	「王者の森」オープン
平成18年1月1日	「秋田市大森山動物園条例」施行
平成19年3月31日	研修ホール・管理棟「ミルヴェ館」オープン
平成20年3月26日	動物健康管理センター「森のびょういん」オープン
平成21年3月31日	大型遊具「アソヴェの森」オープン (日本宝くじ協会の事業を活用)
平成22年3月31日	動物園再整備基本構想策定
平成23年3月19日	「さるっこの森」オープン
平成26年7月24日	「ビジターセンター」および「ウエルカム動物舎」オープン
平成28年3月19日	ネーミングライツ導入
平成28年8月1日	園内に無料の公衆無線LANを整備
平成29年10月18日	高病原性鳥インフルエンザ対策隔離飼養施設およびイヌワシ繁殖保全棟を整備
令和3年3月20日	サル舎「天空の楽猿 (らくえん)」オープン

- (1) 令和7年度入園者数 212,654人

開園期間：4月1日～11月30日、1月4日～2月28日までの土日・祝日、3月20日～31日

- (2) 面積

ア 総面積	150,070m ² (うち水面面積 20,100m ²)
イ 管理施設面積	建物 6,753.81m ² 展示場 11,315.64m ²

- (3) 飼育展示動物数 合計89種522点 (令和8年3月31日現在)

内訳：哺乳類	46種302点	鳥類	24種122点	は虫類	12種 24点
両生類	3種 8点	魚類	3種 43点	無脊椎動物	1種 23点

- (4) 入園料 (令和8年4月1日改正) 大人 1,000円

団体 800円

高校生以下無料

年間利用券 (動物園パスポート) 2,400円

- (5) 公園施設 開設面積69.31ha (動物園15ha含む)

ア 主な施設 グリーン広場：面積14,000㎡、かまど、水洗トイレ、四阿^{あずまや}
展望台 ：標高123m
キャンプ場 ：面積3,000㎡、炊事場、テントサイト、トイレ
駐車場 ：8か所、606台
その他 ：彫刻の森、散策路

(6) 主な行事

月	名 称	内 容 等	令和7年度
4	飼育の日イベント	バックヤード見学、飼育員なりきり体験など	1,707人入園
4～11	3園館連携スタンプラリー	加茂水族館、男鹿水族館と共催	608人参加
4～11	くまぐま園連携プレゼントキャンペーン	くまぐま園半券でクマのエサやり体験	39人参加
4～5	ゴールデンウィークイベント	写真展「飼育員とっておきの瞬間」など	24,038人入園
5	どうぶつサイエンス	どうぶつのお医者さん	27人参加
6	春の動物ふれあいフェスティバル	動物パレード、イヌワシトークイベントなど	2,599人入園
7	サマースクール	飼育体験など（2日間開催）	37人参加
7～2	大森山アートプロジェクト	壁画「思い出に残るシンリンオオカミ」ほか	2作品
7～8	親と子のふれあい写生大会	テーマ「動物との語らい」	277点出品
8	夜の動物園	午後5時半から9時まで開園	15,377人入園
10	秋の動物ふれあいフェスティバル	動物パレード、アニマル応援隊など	2,090人入園
〃	どうぶつサイエンス	自然観察会	7人参加
11	さよなら感謝祭	慰霊セレモニー、記念撮影会など	758人入園
1～2	雪の動物園	カピバラの湯っこなど（19日間）	15,357人入園
3	通常開園	初日（3月20日）	2,366人入園

(7) 教育普及活動実施状況

項 目	年 度	令和7年度
なかよしタイム	一 般	233回 15,258人参加
ふれあい教室	団 体	100回 1,901人参加
飼 育 員 体 験		5回 63人参加
裏 側 探 検		4回 76人参加
動 物 園 学 習		9回 246人参加
出 前 授 業		3回 308人参加
教職員研修・インターンシップ		11回 21人参加
団 体 向 け サ ー ビ ス		5回 207人参加
サル山のエサやり体験		29回 1,285人参加
そ の 他		6回 258人参加

